

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

【第72回】初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）掲載 マナビー・メールマガジン掲載

堺市立白鷺小学校放課後ルーム

～地域の子どもは地域の宝、子どもが輝く居場所づくり～

堺市教育委員会事務局地域教育支援部 放課後子ども支援課

堺市では、放課後子ども教室として「放課後ルーム」を、市内17校区で実施しており、その内3校は、地域の運営委員会が運営しています。

その一つとして、地域運営委員会が運営している白鷺小学校放課後ルームを紹介したいと思います。当ルームは、「地域の子どもは地域の宝」を合言葉に、児童の学習習慣の定着を図り、関心・意欲を高めることを目的として白鷺小学校内で実施しています。

ルームではコーディネーターが中心となり、学校と連携を図りながら子どもの学校生活の様子を把握し、子どもの健やかな成長と円滑な事業運営に努めています。また、地域の方や保護者をゲストティーチャーとして積極的に招き、伝統的文化やスポーツの指導を行ったり、地域にある大学の学生が指導員として活躍したりするなど、地域の人材を生かした運営に努めています。

具体的な活動として、放課後や週末等に学校施設を利用し、高学年児童を対象に、学習をはじめ様々な体験や交流活動を行います。宿題など日々の学習に加えて、書道、木工、けん玉や竹馬等の昔遊び、野外炊飯や科学館への校外活動、夏祭りやスポーツ大会などを実施しています。また、ゲストティーチャーを招いて、エアロビクスで思いきり体を動かすプログラムも実施されました。

子ども達や保護者からは、「プログラムが楽しく、友達も増えた」「一人一人をしっかり見つめて、育ててくれる」といったうれしい声もいただいています。

今後も、地域運営委員会、指導員、学校と連携し、堺の子ども達を健全に育むための事業を推進していきたいと考えています。

（初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第219号に掲載)

（マナビー・メールマガジン第46号に掲載)